

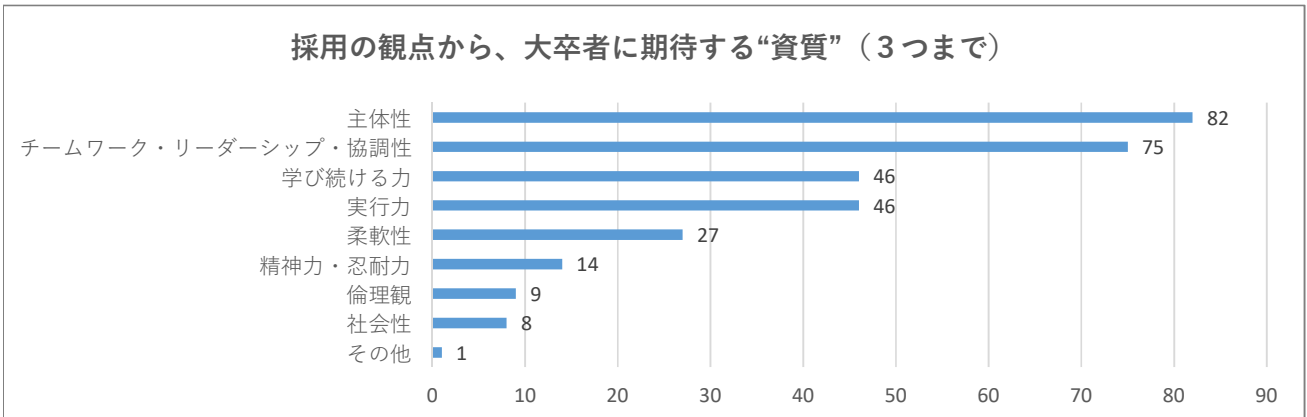
2024年12月11日（水）
キャリアセンター

■実施方法等

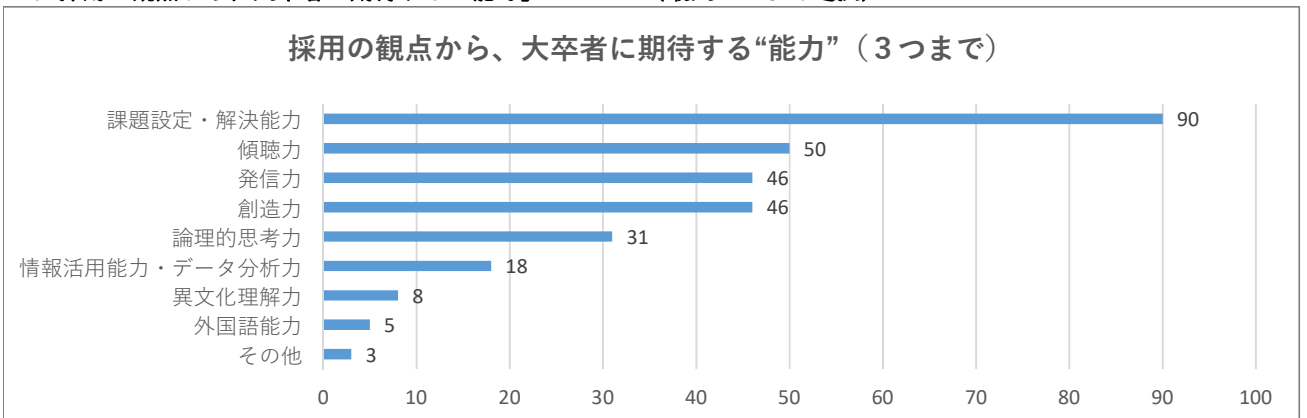
- ・2024年11月15日（金）18日（月）の2日間で開催した「関西大学と企業との情報交換会in大阪」に出席の企業を対象としてアンケートを実施したもの。
- ・回答受付期間：2024年11月15日（金）～27日（水）
- ・出席企業数：108社のうち、回答企業数：103社 ※回答率95.3%

■回答内容

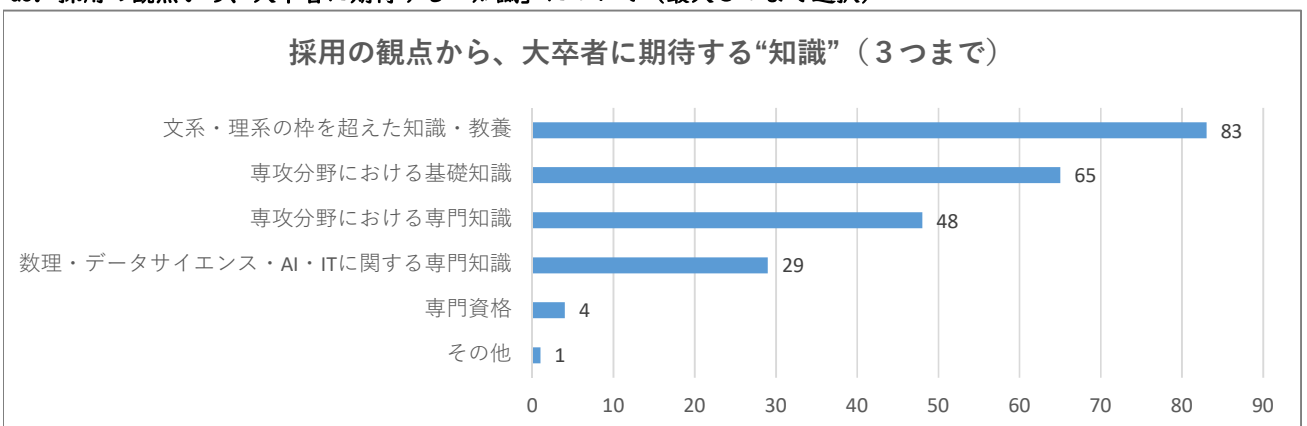
Q1. 採用の観点から、大卒者に期待する「資質」について（最大3つまで選択）



Q2. 採用の観点から、大卒者に期待する「能力」について（最大3つまで選択）



Q3. 採用の観点から、大卒者に期待する「知識」について（最大3つまで選択）



Q4. 採用時の判断基準として有効活用が可能な「学修成果の情報(※)」について（自由記述）

(※)「学修成果の情報」とは、一般的な成績証明書には記載されない「資格」「研究」「語学」の情報など、学位に関する個人別の証書として記載を求めるもの。

*****以下、括弧内の数字は回答企業数*****

- ・TOEICなど、語学の資格(25)
- ・研究内容、学会、論文などの実績とその目的(15)
- ・簿記(9)
- ・何かしらの資格を所有していること(8)
- ・デジタル、IT関連スキル(4)
- ・運転免許証(2)
- ・課外活動(2)※働いてお金をもらった経験があれば、どのような職業観を持ったか見える。
- ・インテリアコーディネーター・建設関連の資格(2)
- ・技術系関連の資格(2)
- ・基本情報技術者(1)
- ・金融関連の資格(1)
- ・士業関連の資格(1)
- ・情報系公的資格(1)
- ・食品表示、栄養管理士などの資格（職種による）(1)
- ・宅地建物取引士(1)
- ・中小企業診断士(1)
- ・電気設備工事関連の資格(1)
- ・電験三種や技術士補の資格(1)
- ・MOS資格(1)

Q5. 「その他大学の教育面全般」について意見や求めること（自由記述）

①キャリア教育の重要性・必要性

- ・キャリア教育において、学生の方々に普段どういったことをご指導されているのか、知りたい。
- ・どのようなキャリア教育を就職活動前の学生の方に実施しているのか、知りたい。
- ・学生へのキャリア教育にも注力されており、その結果が学生の資質の高さや就職活動結果にも現れている。

②大学への期待

- ・入社後に早期に活躍できるよう、周囲とのコミュニケーション、ご自身の意見の発信のトレーニングをしてほしい。（複数社から回答）
- ・三力学（構造力学・土質力学・水理学）の学びをより多くカリキュラムに入れてほしい。《建設コンサルタント業界》
- ・PBLなど民間企業との連携強化を求める。
- ・情報系学生はIT企業などがメインで、メーカー等での活躍フィールドがないと感じている学生が多いと感じるため、情報系学生の受入強化と活躍フィールドの広さを教育してほしい。
- ・学生様の学びたい分野をしっかりと学習いただければ問題ない。
- ・アクティブラーニングを推奨してほしい。
- ・学生時代にやり遂げる苦労と達成感を味わえる機会を与えてほしい。
- ・（学部問わず）経営学を学べる授業を多く導入頂きたい。

③その他

- ・SNSの使い方（情報流出など）の注意喚起があれば企業側としては安心できる。（複数社から回答）
- ・認知度の低いB to B企業がより注目されるような機会を与えてほしい。
- ・挨拶の大切さを教育されている大学があり、社会でのコミュニケーション力に有効かと感じている。
- ・社会の一般常識と言われる基本的なことや柔軟に物事を学ぶ力を身につけていただくことを期待している。
- ・社会人を招いての講義など実社会を学ぶ場があれば良い。
- ・社会人としての倫理観（社会常識等）のさらなるご指導をお願いしたい。
- ・論理的思考能力が養える場を与えてほしい。
- ・挑戦すること、知らないことを経験することの大切さを知っていただけると、価値観が広がると思う。
- ・大学での学びが社会や企業でどう活かせるかがより伝わると、学生のモチベーションにつながるかと感じる。
- ・貴学の学生様は積極的に情報収集をされる方が多い印象があり、それも日々の学業への取り組み方や、キャリアセンターの皆さまの就職活動への取り組み方等のご指導のおかげだと感じている。
- ・指示待ちにならず、自ら考え実行できる人材を求めているため、大学教育の中で、自分たちで課題を設定して解決するまでのプロセスを体験しておいてもらえると良い。